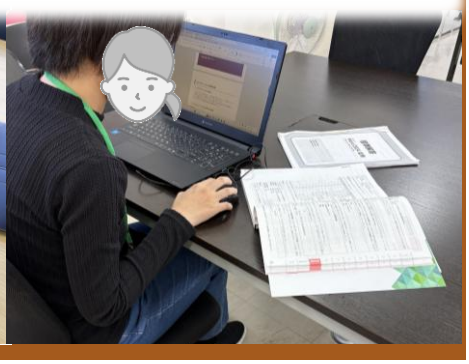
Photo phrase
扉をあけると…




「つかみ取れ、続けて」「続けて、掴み取れ」

むちゃぶり創作
～二語から編み出す即興アート～

お題　「定期券」、「先立つ」

湖の
ほとりのバスの
定期券
先立ち見るは
もみじ回廊
【作：はっしー】



作：さわら

生きぬく読書

（選者：抜け殻）

『ほんとうのことを書く練習』 土門蘭



「生きていくためには『書くこと』が必要ですから」とはじまる。文筆家としてのプライドかと思いきや、胸が詰まるような過去が語られる。書くことで死にたい衝動を制してきた著者の生き様。その鍵は、ほんとうのことを書くこと。その営みは、自分を知ること、自分づくり。「ほんとうのこと」はどうすれば書けるのかを学ぶに留まらず、自分を変えるために書いてみたい、という思いに駆られる。

コラム「自問自答」

（筆者：空炉）

赤く火照る皮膚は秋からの贈り物▼一〇月と一一月の合間、夕と夜が長く手を取り合うような宵闇（よいやみ）を超えて出会うのは寒暖差。汗滴る夏の温度から少しずつ抜け出すと肌を刺すような寒波がやってくる▼私は寒暖差アレルギーを持っているので年中長袖が手放せない。少し肌寒くなってきた頃、半そでで外出しようものなら袖から下は全て赤く熱を持ち痒みを覚える▼寒暖差アレルギーとは急激な気温変化による自律神経の乱れだ。美しく二色に分かれた皮膚と袖の間を見ると夕と夜を体で表しているようだった▼夏生まれの私は暑さにも弱く、喜ぶべき涼しさや寒さにも抵抗がない。まるで季節を全身で否定しているようだ。人間はその身をもって季節を感じ、動かしている。全てを吹き飛ばす清涼を想う季節と人恋しさを想う季節の中には、「人間」という季語を入れたいと私は思う▼一〇月、赤色の火照りは私を秋に連れて行ってくれるのだから。

相談・見学についてはこちら



秋風の赴くままに前進を

お悩み一緒に解決しましょう

あなたの就活、お助けします！

チャレジョブセンター熊谷

埼玉県熊谷市桜木町 1-7-9　武州熊谷駅前ビル 3F

Mail：**kumagaya@challe-job.co.jp**

TEL：**048 - 578 - 8401**　HP

H P：**https://challe-job.co.jp**

Instagram

